

## 下野新聞社杯とちぎ名人戦対局規定

1. 4人1組の予選ブロックで2勝通過、2敗失格とします。予選通過者は午後の本戦トーナメントの抽選を行ってから昼食休憩して下さい。
2. 先後の決定は振り駒とします。
3. 待った、助言をしてはいけません。駒を一度手から離したら変更はできません。例え時計を押していなくても駒が手から離れた時点で着手とみなし、差し手を変更した場合は待ったをしたものと判断します。
4. 2歩、行き所のない駒、打ち歩詰、その他の反則は即負けとします。但し投了をしてしまった場合は投了優先とします。
5. 持ち時間については、予選と本戦の準々決勝までは25分切れ負けとします。時計が切れるのと詰みが同時の時も切れ負けを優先します。本戦の準決勝と決勝戦は持ち時間20分、切れたら秒読み30秒とします。但し対局時間については、進行の都合上、短縮する事もあります。ご了承下さい。
6. 千日手は持ち時間そのままに先後を入れ替えて指し直しします。その際、時計の位置は変更しません。
7. 入玉して駒の点数勝負になった時は、27点法や入玉宣言法を使わず、勝敗は審判長の判断とします。ご了承下さい。
8. その他の問題が生じた時は審判長が係員の指示に従って下さい。
9. ベスト4以上の方には賞状と記念品の贈呈があります。